

問1 飛鳥時代の政治において、蘇我氏が物部氏との争いに勝利し、仏教の布教を強力に推し進めた背景として最も適切な理由はどれか。（2022年 岩手県公立入試 類似）

1. 仏教とともに大陸の進んだ技術や制度を導入し、一族の政治的地位を高めるため
2. 武士の時代の到来に備えて、独自の軍事組織を仏教の教えによって編成するため
3. 古来の神道を信じる地方豪族を武力で圧倒し、全国の土地を国有化するため
4. 遣唐使を通じて、中国の律令制度をそのまま日本に定着させるための宗教儀礼とするため

問2 645年に中大兄皇子と中臣鎌足らが蘇我氏を倒して始まった、天皇中心の国造りを目指す政治改革において、日本で初めて定められた元号は何ですか。（2019年 熊本県公立入試 類似）

1. 大化
2. 白雉
3. 大宝
4. 建武

問3 古代の日本の歴史を振り返ると、天皇が積極的に仏教を保護し、各地に大規模な寺院を建立させたことがわかります。このように国家が特定の宗教を重んじた背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。（2017年 長野県公立入試 類似）

1. 大陸の進んだ文化や技術を導入し、天皇を中心とした国家の仕組みを整えるため
2. キリスト教の伝来を阻止し、日本独自の八百万の神々への信仰を一本化するため
3. 儒教の教えに基づき、武士が政治の主導権を握るための正当性を得るため
4. 大陸との公的な交流をすべて断絶し、国内の勢力だけで自立した国づくりを行うため

問4 万葉集の中に「大王（天皇）は神でいらっしゃるの、水鳥の集まる湿地を立派な都になさった」という趣旨の歌で称えられた天皇について、その統治の背景として最も適切な説明はどれか。（2022年 大分県公立入試 類似）

1. 壬申の乱に勝利したことで絶大な権力を握り、天皇を神格化して官僚制の整備や律令の編纂を進めた。
2. 大化の改新を断行し、蘇我氏を打倒することで、地方の豪族が支配していた土地と民を直接統治する仕組みを作った。
3. 仏教による国づくりを目指し、全国に国分寺や国分尼寺を建立して、東大寺に大仏を造立した。
4. 冠位十二階を制定することで、家柄にとらわれず才能のある人物を役人として登用する制度を整えた。

問5 7世紀後半、白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗した倭国（日本）は、大陸からの侵攻に備えて九州北部の防衛を強化しました。この際、軍事・行政の拠点であった大宰府を防御するために、その北側に築かれた大規模な土塁と水堀からなる防衛施設の名称を選びなさい。（2022年 神奈川県公立入試 類似）

1. 水城
2. 前方後円墳
3. 環濠集落
4. 板付遺跡

問6 7世紀後半、日本が白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗れた後、九州北部の防衛を強化するために大宰府の北西に築かれた、全長約1.2kmに及ぶ巨大な土塁と堤防からなる防衛施設を何といいますか。（2024年 北海道公立入試 類似）

1. 水城
2. 多賀城
3. 壇ノ浦
4. 大仙古墳

問7 7世紀後半、中大兄皇子らが中心となって行われた政治改革である「大化の改新」ののち、唐・新羅の連合軍に敗れた「白村江の戦い」を経て、強力な中央集権国家を目指して8世紀初頭に制定された法令を選びなさい。（2024年 山梨公立入試 類似）

1. 大宝律令
2. 御成敗式目
3. 武家諸法度
4. 禁中並公家諸法度

問8 7世紀初め、聖徳太子（厩戸王）らが中央集権的な国家体制を整えるために定めた、個人の才能や功績に応じて位階を授ける制度を何といいますか。（2022年 宮城県公立入試 類似）

1. 冠位十二階
2. 十七条の憲法
3. 公地公民
4. 班田収授法

問9 飛鳥時代に聖徳太子（厩戸王）によって建立されたと伝えられ、現存する世界最古の木造建築物群を持つ、奈良県に位置する寺院はどれですか。（2024年 岐阜公立入試 類似）

1. 法隆寺
2. 東大寺
3. 延暦寺
4. 興福寺

問10 663年の白村江の戦いにおいて、唐・新羅の連合軍に大敗した倭（日本）の政権が、大陸からの侵攻に備えて九州や瀬戸内沿岸で実施した防衛策として最も適切なものを選びなさい。（2024年 大分県公立入試 類似）

1. 大宰府の北側に水城を築き、各地の要所に朝鮮式山城を造った
2. 博多湾の沿岸に石築地（元寇防塁）を築き、武士を動員した
3. 東北地方に多賀城を築き、蝦夷の反乱に備えて鎮守府を置いた
4. 大陸との交流を断絶するため、遣唐使の派遣を完全に停止した

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 仏教とともに大陸の進んだ技術や制度を導入し、一族の政治的地位を高めるため	当時の仏教は単なる信仰対象だけでなく、大陸の最新の学問や建築技術、外交知識とセットで伝来しました。蘇我氏はこれらの先進文化を独占的に取り入れることで、伝統的な神事を重視し仏教排除を主張した物部氏を圧倒し、朝廷内での主導権を握ろうとしました。
問2	<b>答え 1</b> 大化	蘇我入鹿を倒した乙巳の変に続く政治改革の中で、日本で初めての元号として「大化」が定められました。これは、天皇が時間をも支配するという東アジアの統治思想に基づき、日本が独立した国家としての体制を整え始めたことを象徴しています。中大兄皇子（後の天智天皇）と中臣鎌足（後の藤原鎌足）はこの改革を通じて、豪族による政治から天皇を中心とする中央集権的な政治への転換を図りました。
問3	<b>答え 1</b> 大陸の進んだ文化や技術を導入し、天皇を中心とした国家の仕組みを整えるため	当時の日本は、中国の大陸王朝（隋や唐）のような強力な中央集権国家を目指していました。寺院の建立には高度な土木・建築技術や金属加工技術が必要であり、教典の読解には高度な教育が不可欠でした。仏教を広めることは、これら大陸の先進的な知見を体系的に吸収することを意味しており、それを天皇が主導することで、天皇の権威を高め、国をまとめる大きな助けとなりました。
問4	<b>答え 1</b> 壬申の乱に勝利したことで絶大な権力を握り、天皇を神格化して官僚制の整備や律令の編纂を進めた。	天智天皇は壬申の乱での勝利を通じて、それまでの有力豪族による合議制的な政治から、天皇が絶対的な権力を持つ政治へと転換させました。万葉集の歌は、その強大な権力を「神」と表現して称賛したものです。彼はこの権力に基づき、飛鳥浄御原令の編纂や、のちの平城京へとつながる官僚機構の整備に着手しました。
問5	<b>答え 1</b> 水城	663年の白村江の戦いでの敗北後、天智天皇は唐や新羅による日本侵攻を強く警戒しました。大宰府という重要な拠点を守るため、平地を遮断するように巨大な堤防（土塁）を築き、そこに水を溜めて堀としたのが「水城」です。このほか、西日本の各地には朝鮮式山城と呼ばれる城も築かれ、国家的な防衛網が整備されました。
問6	<b>答え 1</b> 水城	663年の白村江の戦いで大敗した倭（日本）は、唐や新羅が日本列島へ侵攻してくることを強く警戒しました。そのため、天智天皇（中大兄皇子）は九州北部の外交・軍事の拠点であった大宰府を保護するため、福岡平野の最も狭まった場所に巨大な土塁を築き、その外側に水を貯えた「水城」を建設して防衛線を整えました。
問7	<b>答え 1</b> 大宝律令	唐の律令を模範として701年に制定されたこの法令により、日本は本格的な律令国家として歩み始めました。刑法にあたる「律」と、行政法にあたる「令」が整備されたことで、天皇を中心とする中央集権的な統治体制が確立されました。
問8	<b>答え 1</b> 冠位十二階	この制度は、従来の家柄によって地位が決まる仕組みとは異なり、個人の実力を評価して役人を登用することを目的に導入されました。儒教の徳目に基づいた名称の冠を授けることで、官僚組織の基礎を築こうとした飛鳥時代の重要な改革の一つです。
問9	<b>答え 1</b> 法隆寺	聖徳太子が建立したと伝えられる法隆寺は、1993年に「法隆寺地域の仏教建造物」として、日本で初めてユネスコの世界文化遺産に登録されました。その西院伽藍は、7世紀後半から8世紀初めにかけて再建されたものと考えられていますが、世界で最も古い木造建築として非常に高い歴史的価値を持っています。
問10	<b>答え 1</b> 大宰府の北側に水城を築き、各地の要所に朝鮮式山城を造った	白村江の戦いで大敗を喫した倭の政権は、唐・新羅の連合軍が日本列島へ攻めてくることを恐れ、急ピッチで国防を整えました。中大兄皇子（天智天皇）は、亡命してきた百済の貴族の指導のもと、対馬や北九州から瀬戸内沿岸にかけて山城（朝鮮式山城）を築かせ、さらに九州の政治拠点である大宰府を守るために大規模な土塁と堀を持つ「水城（みずき）」を建設しました。また、防人（さきもり）を配置して沿岸の警備を強化しました。